

●各委員から事前に頂いた意見

通番	意見・質問	事務局回答	回答担当課
①	・職場復帰等の途中入所の場合での、双子・三つ子等多子の入所優先順位をあげてほしい。	・保育施設等利用に係る利用調整基準において、兄弟が同一園に同時入所を希望する場合は優先保育の基準による加算があり、既にそれを適用している。同じ年齢の児童を同時に受入れとなると、園の体制整備の問題もあるため、第2、第3希望まで教えていただき、市で調整する形となる。	こども未来課
②	・八代市内では、室内遊具のある施設が無い。乳児に対しては子育て支援センターで雨天でも過ごせるが、幼児・小学生が安心して遊んだり、身体を動かせる室内遊技場を作ってほしい。	・新八代駅周辺にて文化コンベンションセンターを作る構想計画があり、2027年までにアリーナ等の施設の完成を目指している。併せて子どもが遊べる施設や、子どものための図書館等の設立を教育委員会とともに整備計画に入れるよう動いている。	こども未来課
③	・「八代市子ども・子育て会議」は年に1回しかない。八代市が子育てに優しいまちづくりを考えるならば、1年間の報告だけでなく数回の会議を持って、状況報告、課題を重視した会議を行うべきだと思う。	・令和5年度は1回のみで開催であったが、令和6年度は子ども・子育て支援事業計画策定のため、「八代市子ども・子育て会議」は年3回実施を予定している。 ・令和7年度以降は年2回以上開催し、より良い子育て支援策の取組を推進していく。	こども未来課
④	【資料3・P9(7)地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター、つどいの広場)】 ・つどいの広場ほけっとの実績を知りたい。	・平成29年度から令和4年度までは各年度143日程開設していた。1日平均の利用者数が平成29年度から平成31年度は1人前後、令和元年以降は0.1人と大幅に減少している。 ・また直近3年の泉町の年間出生者数は2~1人である。	こども未来課
⑤	【資料3・P9(7)地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター、つどいの広場)】 ・つどいの広場ほけっとの休止に伴い、泉町エリアの親子への支援が不十分になることはないのか。代替案があれば示していただきたい。	・現在は泉町にある下岳保育園にて、子育ての支援や情報提供を行っている。 ・子育て総合サイト「やつしろあったかねっと」においても子育て情報の発信を随時行っている。 ・市内に地域子育て支援センターが8箇所あるためそちらも利用等も案内していきたい。	こども未来課
⑥	【資料4・P33基本施策⑤子どもの貧困対策の推進・子どもの学習支援への取組み】 ・多様な家庭が増えた中、市として取組みが実施されていない状況は改善すべきである。	・(こども未来課)令和5年9月に熊本県が子どもの学習環境を含めた「子どもの生活実態調査」を実施している。また令和6年度に市内小学生や中学生を対象とした生活実態調査を実施予定であり、これらの調査を踏まえ市としての取組を検討したい。 ・(学校教育課)児童生徒の保護者のうち、生活保護法の要保護者に準ずる程度の世帯に対して給食費や学用品費、校外活動費等の援助を行っている。	こども未来課 学校教育課
⑦	・市と学校が連携して、要保護児童や要支援児童等を支援しているケースについて、児童が在籍している小・中学校へ対応の経過等情報共有してほしい。	・対応の経過等については、個別ケース検討会議等を通して関係機関へ情報共有し、連携を図っていきたい。	こども未来課